

手取川・梯川連合水防演習

— 平成20年5月31日開催 —

・ 手取川の河川整備の目標

- 洪水による災害の防止・軽減
 - ・築堤 ・樹木伐採 ・低水護岸 ・河床掘削
 - ・急流河川対策
 - ・土砂動態の調査・研究(モニタリング・試験施工等の実施)
 - ・河川情報の提供
 - ・ハザードマップの作成支援
 - ・洪水等に備えた予防的対応
 - ・防災意識向上の為の広報
 - ・霞堤の機能維持
 - ・河川管理施設の適性管理 ・堆砂対策
- 河川の適正な利用と流水の正常な機能
- 河川環境の整備と保全

平成20年度手取川・梯川連合水防演習の概要

◆ 水防連合演習の概要

本格的な洪水時期前に、国土交通省・石川県・川北町をはじめとする水防管理団体が加賀地域の13の消防団、自衛隊、県及び市町の防災関係部局、日本赤十字社石川県支部、地域住民の方々等の参加により「水防工法の習得・研鑽、情報伝達、住民避難、人命救助」の訓練を実施しました。



手取川・梯川連合水防演習

～清流ふるさとの川 手を取り合い守ろう・備えよう～

平成20年 5月31日(土) 8:20～12:30 石川県能美郡川北町与九郎島地先
(手取川右岸 辰口橋下流河川敷)

■主催：手取川・梯川水防連絡会、川北町、石川県、国土交通省北陸地方整備局

手取川・梯川連合水防演習コンセプト

- ①.水害に対する防災意識の啓発
- ②.水防技術の伝承と消防団員の技術研鑽
- ③.住民参加型訓練による地域防災力の強化

演習想定

- ・金沢地方气象台：「大雨洪水警報」発表
- ・金沢河川国道事務所、金沢地方气象台：「手取川はん濫注意情報」発表
- ・金沢河川国道事務所災害対策室の情報
 - 1) 前線の停滞による大雨により手取川の鶴来水位観測所水位が汎濫注意水位に達し、更に上昇する見込み
 - 2) 降り始めの30日22時から31日9時までの手取川流域平均雨量が70mmに達した。
1時間雨量は多いところで25mm。
 - 3) 9時から12時までの流域平均雨量は50mmに達する見込み。
鶴来水位観測所の水位は12時ころ避難判断水位に達する見込み。
- ・手取川ダム：警戒体制を発令、洪水調整を開始



●昭和9年手取川洪水



●平成18年梯川出水

主な実施項目と予定時刻

	8:20	■小松市消防音楽隊 ■手取九郎島駐組
	8:50	開会式 (一般見学者席をご覧ください) ●情報連絡 ●河川監視 ●演習本部設置
見学エリアをご覧ください	9:40 工法演習①	木造し工 川倉工 ■川北町消防団 ■能美市消防団 ■小松市消防団 ■白山市北消防団 ■加賀市消防団 ■白山市北消防団
	10:05 工法演習②	シート張り工 月の蟻工 T型マット工 立構工 ■小松市消防団 ■金沢市第三消防団 ■小松市消防団 ■白山市北消防団 ■金沢市第一消防団 ■加賀市消防団 ■小松市消防団 ■白山市南消防団 ■能美市消防団 ■小松市消防団 ■白山市南消防団 ■金沢市第二消防団
見学エリアをご覧ください	10:40 工法演習③	積み土のう工 改良積み土のう工 ■小松市消防団 ■白山市南消防団 ■金沢市第一・第二消防団 ■津幡町消防団 ■加賀市消防団 ■かほく市消防団 ■野々町消防団 ■内灘町消防団
	11:10 応急復旧工	大型土のう工 ブロック投入工 無人バックホウ ■石川県及び(社)小松能美建設業協会 ■国土交通省及び災害協定中身建設班
避難救助活動見学エリアをご覧ください	11:20 救助活動	●野外炊飯 ●炊き出し ■陸上自衛隊第14普通科連隊 ■川北町女性協議会 ■白山市赤十字奉仕団 ■能美市赤十字奉仕団
	12:10	閉会式 (一般見学者席をご覧ください)

※見学エリア内では係員の指示に従ってご見学ください。なお、ヘリコプターが接近する際には水しぶきや小石が飛ぶことが予想されます。また、帽子など飛ばされないようご注意ください。
12:10 閉会式 (一般見学者席をご覧ください)

平成20年度手取川・梯川連合水防演習の状況

～清流ふるさとの川
手を取り合い守ろう・備えよう～
雨の中2400人が参加
手取川・梯川連合水防演習を実施



水防活動の重要性について認識を新たにするとともに、水防機関の士気高揚と水防技術の向上、地域社会が一体となって水防体制の強化を図ることを目的に水防演習を実施しました。

- 開催日時：平成20年5月31日(土)8時30分～12時30分
- 場所：石川県能美郡川北町与九郎島地先 手取川右岸河川敷(辰口橋下流)
- 主催：手取川・梯川水防連絡会、川北町、石川県、国土交通省
- 内容等
 演習当日は、谷口技監出席のもと、本番さながらの悪天候の中、1,300人が水防工法、情報伝達、避難訓練等を実施。
 一般参加者は1,100名で、河川状況や避難に関する情報の流れ及び入手方法等日頃からの備えのあり方、水防の重要性を周知し、「自助」、「公助」、「共助」の連携による地域防災力強化の重要性について啓発を図りました。
- 実施状況



開会式全景



水防団による水防工法



水没ドア開閉体験



一般参加者も水防工法を間近で見学

梅雨間近 備え万全に

手取川河川敷 1000人参加 水防演習



土のろも積み、堤防の決壊を防ぐ水防工法に取り組み水防団員(31日午前、石川県川北町)

梅雨時期を前に沿河川一帯の事態に備え、防犯訓練の一環として、川北町と石川県の両市町が主催する水防演習が、手取川河川敷で31日午前、約1000人が参加して実施された。沿河川一帯の事態に備え、防犯訓練の一環として、川北町と石川県の両市町が主催する水防演習が、手取川河川敷で31日午前、約1000人が参加して実施された。

北陸中日新聞(H20.5.31夕刊)

建設工業新聞(H20.6.2)

堤防決壊に備え

手取川・梯川 水防演習に200人
国土交通省北陸整備センターで行われ、かほく県や石川県、川北町など市町村の消防団員や水防団員、市民ら約2千400人が参加した。水防工法や水防用具の使い方、避難訓練など、演習は31日、同日練習で河川災害時の連携を確保した。



河川災害に備え、訓練する消防団員
—31日午前10時25分、川北町の県手取川簡易グラウンド

北國新聞(H20.5.31夕刊)

に当たる水の流れを弱める「木流し」、堤防の崩壊の拡大を防ぐ「シート張り工」など十項目を手際よく繰り返した。

雨の中900人が本番さながらに
手取川・梯川連合水防演習
本誌主催は10年ぶり
石川県能美郡川北町と石川県の両市町が主催する水防演習が、手取川河川敷で31日午前、約1000人が参加して実施された。

平成20年度手取川・梯川連合水防演習の状況

会場案内図

